

V 特別支援教育研究連合 各ブロック部会

「この研究は公益財団法人日本教育公務員弘済会
宮崎支部からの助成金を受けて行っています」

宮崎ブロック部会

1 研究主題（テーマ） 「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について」

2 主な研究・活動の内容

(1) 組織 ～ 宮崎地区特別支援教育研究会と東諸県地区特別支援教育研究会、宮崎市内の特別支援学校5校（明星視覚、赤江まつばら、みやざき中央、みなみのかぜ、清武せいりゅう）

(2) 活動計画

期 日	事業名	活動の内容	会 場
7月8日（月）	県特研連宮崎ブロック 第1回役員会	・平成30年度の活動報告 ・令和元年度の計画・予算検討	広瀬中学校
8月30日（金）	県特研連宮崎ブロック 第2回役員会 （宮崎市特別支援教育 研究部会第3回全体会 と兼ねる）	・研修会の細案検討 ・ふれあい作品展の細案検討	佐土原総合文化センター
11月15日（金）	県特研連宮崎ブロック 第1回研修会	・小中学校特別支援学級での 授業研究会（宮崎市北部②中 学校）*藤田司先生（自情学 級）	櫛中学校
12月6日（金）	県特研連宮崎ブロック 第2回研修会	・特別支援学校での授業研究 会（オープンスクールと兼ね る）	みやざき中央 支援学校
11月29日（金） ～12月3日（火） *2日（月）は休 館日	第51回ふれあい作品 展	・宮崎市及び東諸県郡の小中 学校特別支援学校及び特別支 援学校5校の作品を展示 ・11月28日（木）搬入 ・12月 3日（火）搬出	宮崎市民プラ ザ4Fホール
2月18日（火）	県特研連宮崎ブロック 第3回役員会	*（宮崎市特別支援教育研究部 会第3回理事会後に実施）	生目の杜遊古 館

3 成果と課題

(1) 研修会

第1回研修会は、櫛中学校で行った。普段の授業の記録映像を観ながら日々の実践報告を受けた後、各自の実践や指導上の悩み等を出し合い有意義な研修会となった。県教育研修センターの指導主事から、指導助言をいただき、大変参考となった。

第2回研修会は、みやざき中央支援学校の授業を参観した。後半ではグループに分かれ質疑応答や指導法について意見を出し合った。

(2) ふれあい作品展

各学校の創意工夫した表現活動を幅広く知ってもらい、特別支援教育に対する理解と啓発、交流を図ることができた。各学校の児童・生徒や保護者も多数来場し、多くの作品を鑑賞することで、今後の作品制作への意欲の高揚および特別支援教育の啓発につながった。

南那珂ブロック部会

1 研究主題

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応する教育の専門的指導力の向上と小・中学校等における特別支援教育の充実を図る。

2 活動内容

期 日	活 動 内 容	場 所	参加人数
6月13日	○ 第1回南那珂ブロック部会役員会 ・活動計画、総会資料検討	日南くろしお支援学校	6名
7月16日	○ 第2回南那珂ブロック部会役員会 ・総会、研修会計画	日南くろしお支援学校	6名
7月30日	○ 南那珂ブロック部会総会、研修会	日南くろしお支援学校	117名
11月21日	○ 第3回南那珂ブロック部会役員会 ・総会、研修会反省 ・研修費活用計画 ・県大会一次案内検討	日南くろしお支援学校	6名
2月 (予定)	○ 第4回南那珂ブロック部会役員会 ・活動反省、決算報告 ・次年度活動内容検討	日南くろしお支援学校	8名

3 本ブロック部会の成果と課題

本年度は、7月に総会、研修会を実施した。まず、全体会の前半は、日南くろしお支援学校チーフコーディネーターの満石恵美子教諭から、「南那珂エリアにおける特別支援教育」というテーマで、主に知的障がいのある子どもたちの支援の在り方についての説明があった。全体会の後半では、宮崎市教育相談センターの松田昭憲先生に、「楽しい生活単元学習～基本と実践事例～」という題目で講話をしていただいた。生活単元学習については、昨年度の南那珂ブロック会員から出された「どのように取り組んでよいか分からない」「具体的な事例を知りたい」という要望から設定したものであり、松田先生の実践から生活単元学習の内容や他教科とのつながりについて話していただいた。

成果と課題については以下の通りである。

(1) 成果

- 南那珂地区の特別支援学級の現状や特別支援教育の課題について知ることができた。
- 特別支援学校職員による教材展示や書籍紹介が参考になったとの意見が多かった。
- 生活単元学習について、教材や単元の見方・考え方を知り、初めて特別支援学級担任になった職員や、特別支援学校勤務になった職員にとっても、有意義な内容であった。

(2) 課題

- 小・中学校においては、教育課程の編成等に課題があり、生活単元学習や自立活動などの時間が確保されていない。このような研修を管理職や全ての教職員に向けて実施する必要がある。

来年度は、南那珂ブロック部会が主催となって県特連の研究大会を開催予定である。小・中学校と特別支援学校が連携を図り、充実した大会となるよう計画的に運営していきたい。

都北ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

- (1) 児童生徒の特別な教育的ニーズに応じた指導はどうあればよいか。
 (2) 児童生徒の実態に応じた交流教育はどうあればよいか。

2 活動内容

(1) 活動内容及び計画

月	日	会の内容	場所
4	24 (月)	○ 特別支援学級担当者等の調査（事務局） ○ 担当者会	高城生涯学習センター
5	8 (月)	○ 第1回事務局・役員会 ・新旧引継ぎ、総会資料検討	都城市立石山小学校
	29 (金)	○ 定期総会 ・平成30年度事業報告、並びに決算報告 ・平成31年度事業報告案、及び予算案の検討 ・各部会、及び地区部会	高城生涯学習センター
7	25 (木)	○ 山田・高崎地区合同研修会 内容 音声教材デイジーについての研修会 講師 都城市立高城小学校 教諭 享保 健太郎 先生	都城市立山田小学校
8	7 (水)	○ 教育講演会 演題 「攻撃的な言動が見られる子どもの理解と対応 ～アタッチメント障がいについて～」 講師 宮崎市立高岡小学校 教諭 山口 孝治 先生	高城生涯学習センター
9	18 (水)	○ 九州大会発表第1回事前準備会	都城市立祝吉中学校
10	23 (水)	○ 九州大会発表第2回事前準備会	都城市立祝吉中学校
	31 (木)	○ 九特研研究大会・九情研「鹿児島大会」参加	かごしま県民交流センター
11	1 (金)	○ 九特研研究大会・九情研「鹿児島大会」 第7分科会「合理的配慮の取組」発表、参加 提案者 都城市立梅北小学校 教諭 西脇 眞由美 先生	鹿児島市立八幡小学校
	27 (水)	○ 授業研究会【沖水・志和池・庄内・西岳地区】 ○ 実践報告集の製本発行	都城市立沖水小学校
12	6 (金)	○ 地区別交流学習会	各地区の計画による
1	16 (木)	○ 合同作品展前日準備	都城市ウエルネス 交流プラザ ※地区別交流学習会の場所については各地区の計画による。
	20 (月)	○ 合同作品展 ○ 合同作品展撤去 ○ 地区別交流学習会	
2	27 (木)	○ 第2回理事・事務局会 ・年間活動の反省、及び次年度に向けての協議	都城市立祝吉中学校

3 本ブロック会の成果と課題

(1) 成果

- 教育講演会では、特別支援教育に携わる経験の浅い会員にとって、児童生徒の実態や特性を理解するための充実した内容であった。また、地区別研修会でのデイジー教材の活用研修や、各校での合理的配慮の工夫の集約など、取組の充実がみられた。

(2) 課題

- 特別支援学級の増設により、初特担であったり、十分な研修の場が得られないまま特担として苦勞していたりする会員が多く、会員相互の交流や研修の必要性を感じる。その一方で、支援学級を離れられない状況もあり、研修機会の在り方を工夫したい。

西諸県ブロック部会

1 研究主題

「児童・生徒の実態に即した効果的な指導はどうあればよいか」

2 活動内容

期日（曜日）	事業内容	場 所
4月18日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回研修会（総会） <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画案及び予算案審議 ・ 役員選出（西諸特研役員・運動会実行委員） ○ 合同運動会打ち合わせ ○ 引継ぎ 	小林中央公民館
5月14日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画確認 ・ 合同運動会実施計画案検討 ○ 合同運動会実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 合同運動会実施計画案検討 	加久藤小学校
6月3日（月）	○ 合同運動会前日準備	小林中央公民館
6月4日（火）	○ 合同運動会	小林中央公民館
12月12日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会の準備 ・ 第3回研修会の内容検討 ○ 第2回研修会（教育講演会） 	小林中央公民館
2月10日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会の準備 ○ 第3回研修会（実践集録作成・分科会） 	小林中央公民館
3月5日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度反省並びに次年度計画案検討 	加久藤小学校

3 本ブロック会の成果と課題

（1）成果

ア 合同運動会について

6月4日（火）に実施した合同運動会は、西諸県地区の支援学級の児童・生徒、担任、担当者、保護者及び社会福祉施設関係者、南部教育事務所長をはじめとする来賓各位等、400名近くの参加者で盛大に開催することができた。年々参加者が増加してきている中で、本年度は、競技内容や運営の仕方を見直し、合同運動会の目的でもある交流と親睦を十分に深めることができるように工夫した。児童・生徒や福祉施設の利用者の方々にとっては大変楽しみにしている行事の一つであり、地域に根差した活動となっている。

イ 教育講演会について

12月12日（木）に、熊本のお笑い芸人あそどっぐ氏を招いて「寝たきり芸人あそどっぐトークライブ～笑がいな僕～」という演題で講演会を開催した。ギャグや漫談を交えながら話された自身の幼少期から現在までの暮らしぶりは、共生社会の実現に向けて私たちに多くの示唆を与えてくれた。

ウ 実践集録作成と実践報告会について

毎年作成している実践集録を使って、実践報告会を実施した。自らの実践を振り返り、成果と課題を明らかにするとともに、お互いの実践を共有し高め合うことができた。

（2）課題

- インクルーシブ教育の構築に向け、日常の実践のさらなる充実につなげていきたい。

児湯ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実」

2 活動内容

- ・ 役員会（年2回）運営及び会計業務
- ・ 令和元年度宮崎県特別支援教育研究連合児湯ブロック部会の運営
- ・ 令和元年度宮崎県特別支援教育研究連合児湯ブロック研究大会の計画・運営

月	日	会議及び活動内容		県特研連関係
4	初旬		・ 事務局引継ぎ	
5	下旬 30		・ 西都・児湯地区各校・るびなす支援学校で第1回役員会内容についての協議	・ 第1回事務局会及び事務局連絡会
6	4	第1回役員会	・ 令和元年度役員の確認 ・ 平成30年度事業報告、収支決算報告 ・ 部会会則及び部会の運営に関する確認 ・ 令和元年度事業計画、収支予算案審議 ・ 令和元年度研究大会に関する検討 ・ 第1回事務局会及び事務局連絡会報告	
6	下旬 20		・ 令和元年度児湯ブロック研究大会案内	・ 第1回理事会及び代議員会（総会）
7	26			・ 県特研連研究大会（日向・東臼杵ブロック）
8	7	児湯ブロック部会研究大会	< 研究発表 > ○ 高鍋町立高鍋東中学校 甲斐 恵理子 教諭 < 講演 > ○ 県教育庁特別支援教育課 横山 貢一 課長補佐 < 事務連絡会 >	
10	29			・ 第2回事務局会及び事務局連絡会
12	下旬		・ 令和元年度収支決算案・会計監査	
1	下旬		・ 西都・児湯地区各校・るびなす支援学校で第2回役員会内容についての協議	
2	7	第2回役員会	・ 令和元年度児湯ブロック研究大会反省 ・ 令和元年度事業報告、収支決算報告審議 ・ 令和2年度事業計画案、収支予算案審議 ・ 令和2年度宮崎県特別支援教育研究連合児湯ブロック研究大会に関する検討 ・ 令和2年度役員の確認 ・ 児湯ブロック部会の運営に関する検討	
2	20			・ 第3回事務局会及び事務局連絡会

3 本ブロック部会の成果と課題

児湯ブロック研究大会の講演内容、研究内容ともに、通常学級で困り感をもった児童・生徒の対応についても触れることで、参加者の間口が広がった。

ブロック役員会での審議内容について、事務局から各地区へ早めに連絡をし協議できるようにした。今後も計画的に運営していく必要がある。

日向・東臼杵ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

「自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育」

2 活動内容

- ・令和元年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会の準備・運営
- ・令和元年度宮崎県特別支援教育研究連合日向・東臼杵ブロック部会の運営

期日	事業名及び主な活動内容	場所
5月23日（木）	【令和元年度県特研連研究大会（日向・東臼杵ブロック主管）第6回実行委員会】 ・令和元年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会第二次案について ・研究大会予算案、各係進捗状況、検討事項について	富高小学校
6月27日（木）	【令和元年度県特研連研究大会（日向・東臼杵ブロック主管）第7回実行委員会】 ・令和元年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会準備について 【令和元年度県特研連日向・東臼杵ブロック部会総会】	富高小学校
7月4日（木）	【令和元年度県特研連研究大会（日向・東臼杵ブロック主管）発表リハーサル】 (日向地区杜句別支援教育研究会の中で実施)	大王谷コミュニティセンター
7月25日（木）	【令和元年度県特研連研究大会（日向・東臼杵ブロック主管）第8回実行委員会】 ・前日準備、係打合せ、進行リハーサル	門川町総合文化会館
9月19日（木）	【令和元年度県特研連研究大会（日向・東臼杵ブロック主管）第9回実行委員会】 ・研究大会反省（各係の反省、決算報告）	富高小学校
10月25日（金）	【なかよし運動会】 ・日向・東臼杵ブロックの特別支援学級及び日向ひまわり支援学校合同の運動会	サンドーム 日向
1月9日（木） ～21日（火）	【なかよしアート展】 ・日向・東臼杵ブロックの特別支援学級及び日向ひまわり支援学校の児童生徒の作品を展示発表する。	日向市中央 公民館

3 本ブロック部会の成果と課題

本年度は、研究大会主管ブロックとして、第22回宮崎県特別支援教育研究連合研究大会を開催することができた。よって通常の年度と違って合同研修会を実施しなかった。大会実行委員会を中心に本ブロックの特別支援教育担当者が協力して研究大会を成功させることができた。今後は、会員のニーズに合った実践的な研修を継続していけるとよい。

「なかよし運動会」は例年通り開催し、児童・生徒の交流に加え保護者交流会も好評だった。3学期の「なかよしアート展」も実施することで担当者間の連携が図れるとよい。

県北ブロック部会

1 研究主題（テーマ）

県北地区における児童生徒一人一人のニーズに応じた支援の在り方

2 活動内容

本年度も延岡地区と西臼杵地区内の特別支援学校と小中学校の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査研究及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的として、以下の活動に取り組んだ。

期 日	事 業 名	主 な 内 容
6月10日（月）	第1回事務局会	・平成30年度の事業報告、決算報告 ・令和元年度活動方針について ・令和元年度の事業計画、予算案 ・総会、夏季研修会について
8月7日（水）	総会 夏季研修会	・前年度事業報告、決算報告、本年度事業計画、 予算案等 ・講 演 講師 元 宮崎県北部福祉こどもセンター所長 林 和豊 氏 演題「特性のある児童生徒への指導の在り方 —愛着障がい等のある子ども、及び その保護者への関わり方—」
10月21日（月）	合同作品展 運営委員会	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・係分担等
令和2年 1月18日（土） ～21日（火）	合同作品展	・各学校の幼児児童生徒の作品展 ※17日（金）は会場設営、作品搬入 21日（火）は午後3時まで展示 （その後片付け、作品搬出）
2月上旬	合同作品展 反省会	・係からの反省 ・次年度に向けて
2月28日（金）	第2回事務局会	・活動総括と次年度の活動計画について ・次年度事務局の確認及び引継事項の確認

3 本ブロック部会の成果と課題

本年度の夏季研修会は、講師に元宮崎県北部福祉こどもセンター所長の林和豊氏を迎えての講演会だった。多くの体験談や指導実践を交えた内容で、参加者からは「児童生徒への具体的な関わり方や保護者への対応の仕方について学ぶことができた。」という感想が多く寄せられた。全体で約120名の参加者であった。

合同作品展は、例年約500名の来場者がある地域に根ざした取組になっている。地域住民の方々から称賛や励ましの感想を多くいただいております、特別支援教育の理解・啓発に大きく役立っている。また、その企画運営において、小中学校と特別支援学校の担当者が綿密な打合せを重ねながら行っており、双方の交流を深める機会となっている。

県北地区では、延岡しろやま支援学校を中核として、児童生徒及び職員の交流が盛んに行われている。ブロック部会として、県北地区の特別支援教育の推進に今後も寄与できるよう努力していきたい。